

報道関係各位

一般社団法人 日本船用工業会

PT WINTERMAR OFFSHORE MARINE Tbk と協力協定を締結  
－ OSV 基本設計図面構築事業 －

当会は、2021年8月25日に、インドネシア船主の PT WINTERMAR OFFSHORE MARINE Tbk（以下 Wintermar 社という。）と OSV 基本設計図面構築事業<sup>※1</sup>に関し、本事業で完成させた図面等の供与と当該図面等に基づくオフショア支援船（以下 OSV という）<sup>※2</sup>の建造実現に向けた協力協定を締結した。

協力協定の調印式は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、オンラインで執り行った。当会からは、木下茂樹会長、山下副会長、廣瀬副会長、小田雅人副会長、小田茂晴オフショア事業戦略検討委員長、（一財）日本造船技術センター染矢技術顧問他、Wintermar 社からは、Sugiman 社長、Johnson コミッショナー他の同社幹部が出席した。また、本事業参加会員企業、関係者等多数が調印式の模様をライブイベントとして視聴した。

冒頭、木下会長から「本事業ではオフショアビジネスで豊富な経験と実績を有する Wintermar 社のご協力を得るとともに、会員企業31社<sup>※3</sup>が一丸となって連携し、我が国船用製品のパッケージ化と、アジア・中東等での運用に最適化した OSV の基本設計図面等を完成させることができた。本事業に基づく OSV の建造が実現すれば、我が国船用製品の信頼性や省エネ性能、環境性能、アジア等での広範なアフターサービス網等にご満足頂けると確信している。本船の仕様は、石油・ガス開発関連だけでなく、洋上風力発電関連の業務にも十分対応可能な汎用性の高いものである。今後の利用拡大の可能性に大いに期待している。」との挨拶を行った。

一方、Wintermar 社の Sugiman 社長からは「これまでも日本の船用機器を使用してきたが、世界的に見ても性能、品質、燃費等においてレベルが高いと感じている。これまで我が社は石油・ガス開発関連を中心に事業を展開してきたが、今後はオフショアウィンドファームなど次の市場でのチャンスを狙っている。本船の仕様は汎用性が高く、本船投入により新しい市場を開拓できると期待している。協力協定締結を機に、我が社と日本船用工業会（JSMEA）との関係が一層深まり、近い時期に本事業に基づく1番船建造が実現できるよう協力したい。」との挨拶があった。

今回締結した協力協定では、①Wintermar 社と JSMEA は本事業に基づく OSV の建造を実現するため最大限の努力をすること、②本事業の成果物である基本設計図面等を JSMEA

から Wintermar 社に無償提供すること、③JSMEA が Wintermar 社に提供する基本設計図面等の知的財産権は JSMEA に帰属し、Wintermar 社は図面を適切に管理すること等、としている。

#### **※1：OSV 基本設計図面構築事業**

OSV 分野は、欧州製機器搭載かつ北海等の厳しい気象海象を前提とした欧州製基本設計がデファクトスタンダード化しており、日本の造船・船用工業にとっての参入障壁となっている。また、気象海象が穏やかなアジア等の船主にとっても、欧州製基本設計による OSV は、過剰スペックで高コストとの課題がある。このため、当会が主導して、一般商船分野で培った高い信頼性・省エネ性能を有する日本製機器搭載を前提とした基本設計図面を作成し、普及することを通じ、欧米メーカーが席卷しているオフショア市場に風穴を開けるべく、予てより本会と友好関係にあった Wintermar 社の協力を得て取り組みを開始。この取り組みに対し、国土交通省の支援を得て、2018 年から 3 年間、OSV 基本設計図面構築事業を実施した。具体的な図面作成等は、事業の趣旨に賛同した会員企業 31 社が参加して検討のための会議体（座長：田中康夫(株)MTI シニアフェロー）を設けるとともに、(一財)日本造船技術センター (SRC) に委託して実施した。また、2020 年 1 月に、ABS 船級協会から AIP 承認を取得済み。

#### **※2：本 OSV の仕様や特長**

- ・ 総トン数 2,700 トン、最大搭載人員 60 名、中形の多目的 OSV
- ・ アジア等での穏やかな気象海象や、浅い海域に適した船型
- ・ 高い信頼性・省エネ性を誇る日本製機器を全面採用
- ・ 8つのパッケージにシステムインテグレート
- ・ 日本メーカーによる世界のサービス網を利用可能
- ・ 既に概念設計段階で ABS の AIP 承認を取得済み

#### **※3：本事業への参加会員企業 (31 社)**

パッケージ化参加企業 (16 社)：

株式会社 IHI 原動機、伊吹工業株式会社、潮冷熱株式会社、株式会社カシワテック、セムコ株式会社、大洋電機株式会社、ダイハツディーゼル株式会社、東京計器株式会社、ナカシマプロペラ株式会社、株式会社浪速ポンプ製作所、西芝電機株式会社、日本船用エレクトロニクス株式会社、BEMAC 株式会社、眞鍋造機株式会社、三浦工業株式会社、ヤンマーパワーテクノロジー株式会社

ベンダーリスト参加企業 (15 社)：

かもめプロペラ株式会社、株式会社 COAST、株式会社ササクラ、大晃機械工業株式会社、中国塗料株式会社、寺崎電気産業株式会社、株式会社寺本鉄工所、日東精工株式会社、日本ペイントマリン株式会社、日本無線株式会社、ヒエン電工株式会社、株式会社日阪製作所、古野電気株式会社、兵神機械工業株式会社、ボルカノ株式会社

#### **【本件に関する問い合わせ先】**

一般社団法人 日本船用工業会 業務部 小林、山崎  
TEL: 03-3502-2041 E-mail: kobayashi@jsmea.or.jp

【参考写真】



調印風景

(左から Wintermar 社 Sugiman 社長、Johnson コミッショナー、JSMEA 木下会長)



調印後の記念撮影

(左から Wintermar 社 Sugiman 社長、Johnson コミッショナー、  
JSMEA 木下会長、廣瀬副会長、安藤専務理事)



Wintermar 社と JSMEA からの参加者（一部）

（上段左から Wintermar 社 Nely コーポレートセクレタリー、Johnson コミッショナー、Shanie ディレクター、中段左から JSMEA 山下副会長、小田茂晴オフショア事業戦略検討委員長、Wintermar 社 Sugiman 社長、下段左から調印式会場風景、JSMEA 小田雅人副会長、Wintermar 社 John コミッショナー）